

(様式4)

令和5年度大泉町立北小学校英語科特例校の実施状況について

大泉町立北小学校

1 英語科特例校の内容

小学校1・2年生において、「外国語活動」を実施する。

近年、国際化・グローバル化が進んでおり、今後その流れはますます大きくなることが予想される。令和2年度からの新学習指導要領では、3・4年生で「外国語活動」、5・6年生で「外国語科」が新設され、外国語教育の一層の充実を図ることとなっている。そこで、大泉町内の全ての小学校において、特別の教育課程を実施し、早期から英語の学習を始めて英語教育の充実を目指していく。

2 児童アンケートの結果

<質問項目>

①「外国語活動」の時間は、楽しいですか？	93%
②「外国語活動」の時間は、先生や友達とすすんで英語で話していますか？	91%
③英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	94%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・色々なことが知れて、嬉しかった。家族の言い方を英語で覚えられた。みんなで楽しく英語ができた。
- ・英語の歌が楽しい。色々な時刻や天気が言えて嬉しい。
- ・もっと英語がすらすら言えるようになりたい。
- ・自分の誕生日を英語で言えるようになって、嬉しかった。

3 保護者アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	98%
②お子さんは、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	94%
③お子さんは、英語であいさつをしたり、英語で言ったり、答えたりすることができますか？	79%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・多国籍の方が多く住む町なので、外国語に多く触れる機会があるのは良いと思う。
- ・家でも英語を話すことがあり、楽しそうにしている。
- ・英語の歌をよく歌っている。これからも楽しく身につけてほしい。
- ・家庭でもできる英語の遊びを教えてほしい。
- ・先生や友達と英語であいさつをする日などがあったら、より英語を使えるようになると思う。

4 教職員アンケートの結果

<質問項目>

①小学校1年生から、英語の授業を実施することは、英語への関心を高めることに役立っていると思いますか？	100%
②児童は、英語の授業を楽しみにしていると思いますか？	100%
③児童は、英語であいさつをしたり、英語で簡単な質問に答えたりすることができますか？	100%

(数値は肯定的な回答の合計割合)

<自由記述>

- ・子ども達が非常に楽しそうに活動しているのが印象的。「好き」や「楽しい」が力になるのだと改めて感じた。
- ・子ども達が英語の歌に親しみをもつようになった。「今日の英語は〇〇をやるんだ」と嬉しそうに話している。
- ・JTE（日本人英語担当講師）の英語指導の手立てやスキル等が豊富であり、とても助かっている。

5 成果と課題

<成果>

- ・歌やリズム遊び、ゲームなどの活動を取り入れることで、児童の興味、関心を高めながら楽しく活動することができている。
- ・低学年では、「話す・聞く」のやり取りを中心にする中で、英語のリズムやイントネーションを体で感じて慣れ親しむことができている。
- ・低学年からネイティブのALTの先生や外国語にたくさん触れることは多文化や異文化を理解することにつながっている。

<課題>

- ・家でも英語に慣れ親しむために、学校でどんな授業をしているのか知りたいと感じる保護者が多くいる。しかし、学校から発信する機会が少なく保護者はよくわからないと感じている様子が見られる。学年便りや学級通信、学校公開、ホームページ等でさらに外国語活動の授業の様子を伝えていく必要がある。
- ・歌やリズム遊びだけでなく、聞き馴染みのある英語を実際に使えて嬉しいという実感をもたせるために、学校全体であいさつ程度の英語を話す機会をつくるとよい。

6 学校関係者（学校評議員）の評価結果

- ・児童が楽しんで英語の授業に取り組んでいる。英語での発話を引き出し、英語によるコミュニケーションがたくさん取れていた。
- ・町全体での英語活動発表会のように、各学校でも、朝会やふれあい活動での英語活動の充実を図れるとよい。